

編集後記

受験シーズンを迎え、大学で入試関連業務に関わっていらっしゃる先生方はお忙しい毎日と思います。1月19日と20日には2年後に大学入学共通テストに代わられて消滅するlast but oneの大学入試センター試験が行われました。大学教員として残り3か月の筆者にとって、リスニング試験のある1日目のセンター試験主任監督者をはじめて仰せつかったのは、運がよいのか悪いのか複雑な心境でした。幸いICレコーダーの不調などトラブルなく無事監督業務を終えてほっとしたところでした。ところで監督者として受験生に与える注意点の中に、試験中に机の上に置いてよい所持品の確認があります。黒鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計などは試験を受けるための必需品ですが、受験生の健康面を考えて許可されていると思われるものに、眼鏡、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパーがあります。ほかにも考えられる咳止め薬、点鼻薬／スプレー、ハンドクリーム、リップクリーム、のど飴、ペットボトル飲料などを差し置いて、眼科関連グッズが4分の2の確率で採用されていることに優越感を感じましたが、眼鏡は通常、受験生が装用しているもので、机の上に

置いてよい所持品に含める必要はないのではないかと、暇な試験監督中考えていました。最終的には、近年医学部入学者の中に50代60代の学生がいることを考えると、これは高齢受験生が老眼鏡を使用することを想定しているのではないかと納得しました。目薬に関しては2～3割の受験生の机の上にあり、ドライアイがメジャーな眼疾患であることを改めて感じました。

さて、今月号の眼科の特集は全身治療薬による眼疾患の話題です。角膜が専門ではない筆者でもアミオダロンの角膜上皮色素沈着やTS-1の角膜上皮障害についてはある程度理解していましたが、その他の多くの抗がん剤による角膜上皮障害やパーキンソン病治療薬による角膜内皮障害の知識はたいへん勉強になりました。

そのほか、先天鼻涙管閉塞治療の現況、網膜疾患の脈絡膜変化、Spot™ Vision Screenerなどの解説と興味深い原著、臨床報告、私の経験など読み応えのある誌面構成となっておりますので、最後まで読んでいただいてご満足いただけるものと思います。

(飯島裕幸・記)

編集：飯島裕幸・富田剛司・坪田一男・後藤 浩・雑賀司珠也・門之園一明・三村 治
編集顧問：所 敬・小口芳久・白井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治

「眼 科」 第61巻 第2号 2月号

2019年2月5日発行（毎月1回5日発行）
定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

Tel 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。